

## 第2回環境監視委員会会議概要

- 1.開催日時 平成16年12月22日(水) 13:30~16:30
- 2.開催場所 甲賀市甲賀支所 第3会議室
- 3.出席者(出席委員数 12名/委員数 13名)

### 委員

学識経験者：金谷委員

住民代表：中島(茂)委員、東委員

中邨委員、福島委員、中島(仁)委員

事業者：西坂委員、中村委員

滋賀県：池田委員

甲賀市：村山委員、服部委員

環境事業公社：中野委員

### 事務局

(財)滋賀県環境事業公社

## 4.議事内容

### (1)各意見の施設計画への反映について

施設計画についての各意見(延べ126項目)を集約した資料について事務局が説明を行い、委員から次の意見がありました。

#### 【主な意見】

##### (遮水工)

- ・遮水シートの中で、一番肝心なのは接続部分である。接続部分をどうするか。その部分をしっかりと詰める必要がある。
- ・遮水効果の性能確保という意味で、法面部、浸出水の貯留部あるいは非貯留部においては、遮水シートの枚数や材質が違うので、接続部の繋ぎの方法を明確にして欲しい。
- ・建設中のシートの破損事故を防ぐために、施工時や供用時に施行手順の標準化が必要ではないか

##### (埋立管理)

- ・埋立処分場に入れる廃棄物について、番地指定をして、あとで何日にきた廃棄物は何処何処の場所(セル番地)に埋め立てたことが解るようにして欲しい。

##### (情報公開)

- ・情報公開を積極的にすることは、地域の安全確保のために必要不可欠である。
- ・単に、ものを埋め立ててそれで終わりと言うことだけでなく、埋立地を将来に継承していくと言うことで、埋立履歴を情報としてしっかりと整理し、誰でも見られるようなシステムを造る必要がある。

(受入管理)

- ・受入管理については、検査員のレベルの継続性のために、教育や研修が必要である。

(水質)

- ・防災調整池の滞留時間の確保について、仮設工事の時を含めて、きちっと検証していただきたい。
- ・浸出水の下水道投入となっているが、琵琶湖への影響についてどのように考えているのか。
- ・工事中の濁水処理装置で、濁度をどのように落とすのか。

(搬入ルート)

- ・アセスに集約された搬入ルートには、様々意見が出された経過があったことを資料の記録として残して頂きたい。
- ・搬入車両が指定ルートを遵守させるよう検討すべきである。

(2) 工事期間の監視ポイントと監視基準(案)について

工事期間中の各意見に基づく監視ポイントおよび施工管理基準に基づく監視基準(案)について、資料により事務局から説明を行い、次回監視委員会において課題とすることになりました。

(3) 動物・植物事後調査について

動物・植物事後調査について事務局から説明しました。

(4) 次回の開催について

工事の大まかなスケジュールが決まる時期に開催をする予定です。

5. 資料

- (1) 各意見の施設計画への反映について
- (2) 上記資料における参考事項
- (3) 工事期間の監視ポイントと監視基準(案)について
- (4) 動物・植物事後調査

以上